

# 淡路支部ニュース

2019. 1. 25  
No. 340

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-1313 洲本市五色町  
鮎原西9-2 たかたクリニック内  
☎0799-3012272

新年のごあいさつ

## 「頼りになる、役立つ」支部活動を目指して

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



2019年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年支部活動として、3月『診療報酬改

定研究会』、4月臨床談話会『救命救急雨セクターの活動と地域連携・プライマリ・ケア医に伝えたい地域医療圏救急の現状』、4月バスツアー『さぬきうどんを自作・春のこんぴらさん』、5月『接遇研修会』、6月在宅医療研究会『在宅医療ワンポイントアドバイ

ス』、8月支部総会では『笑いの効果・クリニックラウンとは』、9月他科を知る会『整形外科シリーズ・骨粗鬆症』、12月『在宅医療点数の手引き』、などが行われました。

支部幹事会は毎月第2火曜日に定例化し、日常診療で出会った症例報告や工夫、などをテーマにミニ勉強会を実施し、幹事以外の会員も自由に参加できるようにしました。今年も兼ねた会員懇談会、医療安全研修会、在宅医療について他職

種連携を深められるような研究会、昨年好評だったバスツアーなどを計画しています。様変わりするであろう急激な保健医療福祉の環境変化に対応できるように、最新の情報をお伝えし、医療再建をめざして様々な活動を展開していきたいと思えます。

今後、淡路支部は、「頼りになる、役立つ協会」としてくらしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えます。本年も何卒よろしく

会員懇談会・支部新年会

## 本音トークも交え法人運営の理解深める



講師の坂本麻生税理士（奥列の左から2人目）を囲んで交流を深めた

淡路支部では、1月12日、洲本市のきた八で支部新年会を兼ねた会員懇談会「一人医療法人をめぐる最近の諸問題と法人運営」を開催、10人が参加した。

講師を協会の税務講師団として医療機関の経営をサポートしている坂本麻生税理士が務めた。

坂本税理士は、営利法人と医療法人社団との違い、役員報酬の取り扱い、役員報酬の定め方、法人税の税率構造、持ち分あり・なしについて、役員退職給与の決め方などについて、わかりやすく解説した。

医療法人の「持ち分あり」と「持分なし」について、解散時の残余財産の分配と出資持分の払い出し請求権の有無が違いとなる。平成19年3月の第5次医療法改革で、「残余財産の分配を受けるのは社員とする」という定款を持った新たな医療法人の認可は、行わなくなったが、今まで作っていた持ち分の定めのある医

療法人は、「当面は」継続可能であるとされた。

医院の経営指標を見るうえで、在庫と減価償却費は重要な要素で、年に1回はキャッシュフロー、在庫、減価償却を見直し、決算書と照らし合わせることが医院経営の傾向を把握するうえで重要であるとした。

後半、食事をとりながら自院での事例を紹介したり、法人での税務の取り扱い、法人に利益の蓄積を図る場合、図らない場合のメリットとデメリット、法人解散時と相続時の評価内容など、ざっくばらんに疑問点を出し合い、日常診療での多岐にわたって交流を深めた。

## 第94回評議員会

# 病診連携を深める機会に～症例検討会「他科を知る会」発足



発言する中谷正史予備評議員

協会は11月18日、第94回評議員会・臨時決算総会・第41回共済制度委員会を開催。評議員ら89人が参加し、2018年度前半期会務報告と後半期の重点課題、決議を承認した。

淡路支部の中谷正史予備評議員が出席、県立淡路医療センター整形外科との共催で新たに発足した症例検討会「他科を知る会」について発言した。

## 在宅医療点数研究会

# 在宅医療点数のポイントについて分かりやすく解説



日常の在宅点数実務についても交流し合った

淡路支部は12月8日、「在宅医療点数研究会」を洲本市健康福祉館で開催、会員ら9名が参加した。講師の高田裕支部長は、保団連発行『在宅医療点数の手引』をテキストに、複雑な在

宅医療に関わる点数のポイントについて、具体的事例も交えながら分かりやすく解説した。

2018年度診療報酬改定において、訪問診療料の細分化や医療と介護の給付調整の変更が行われ、在宅医療点数は改定を経るごとに複雑さを増している。

参加者より「在宅医療点数についての基本をしっかり押え、土台をかためて、目まぐるしく変化していく請求業務に対応できるように学習していきたい」との声寄せられた。

## 共済の今日と未来を考える兵庫懇話会

### — 第12回総会講演会のご案内 —

<講演テーマ>

# 「貿易自由化と 医療、保険、農業」

— 命と暮らしは守れるか —

<講師> 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

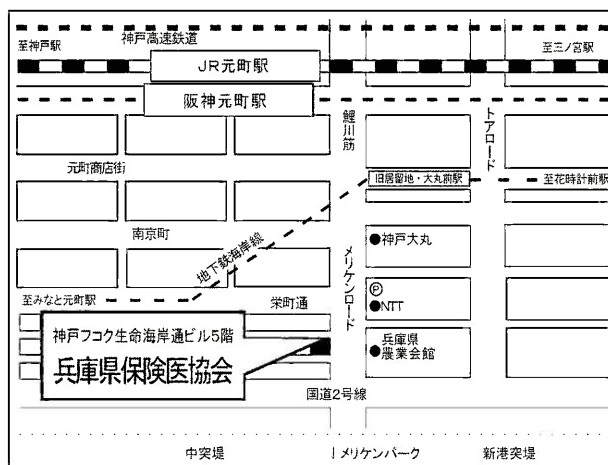
## 鈴木 宣弘 先生

日時: **2月9日(土)午後4時~**

※午後3時40分~4時まで懇話会総会議事を予定しています。

会場: **保険医協会会議室**

TPP12から11へ、そして日欧FTA、日米FTAへと続くTPP12を超える貿易自由化ドミノと、日米のオトモダチ企業利益のために、国民の命を犠牲にする制度改悪・撤廃が際限なく続く「ドロ沼」の実態を把握し、いかにして、この危機に歯止めをかけ、国民の命と暮らしを守ったらよいかを考えます。(鈴木)



鈴木先生ご略歴: 東京大学農学部農業経済学科卒業後、農林水産省入省。農業総合研究所研究交流科長、九州大学農学部助教授、教授を経て2006年より現職。日本学術会議連携会員。専門分野は農業経済学、国際経済学。

呼びかけ団体: 兵庫県知的障害者施設利用者互助会・兵庫県勤労者山岳連盟・兵庫県民主医療機関連合会・兵庫県保険医協会・兵庫県商工団体連合会・兵庫県労働組合総連合・兵庫県労働共済会・全教兵庫教職員共済会

(切り取らずに送信ください)

【FAX返信】(参加申込) 078-393-1802 宛

兵庫県保険医協会共済部 行

●2月9日(土)「自主共済懇話会講演会」に、

出席します 約 ( ) 人

※資料準備の都合上、おおよその参加人数をお知らせください。

団体名、または、お住まいの地区名

お名前